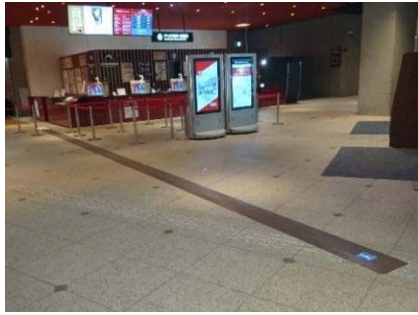


東京都江戸東京博物館にて 視覚障がい者歩行誘導ソフトマットが採用されました



写真① 正面入口からチケットカウンターまで



写真② 以前は点字鋲が設置されていた

東京都江戸東京博物館（東京都墨田区横網1丁目）に、視覚障がい者歩行誘導ソフトマット「歩導くん ガイドウェイ」が導入されました。設置範囲は、正面入口からチケットカウンター。点字鋲からの張替となります。以前は、風除室からお土産売り場へ、お土産売り場からチケット売り場へと点字鋲が設置されていましたが、張替の際に、コントラストがとりづらい点字鋲から誘導マットへ変更し、入口からチケットカウンターまで一直線にアクセスできるよう設置しました。また、床とのコントラストと景観にマッチした茶色が採用されました。

施設側は「高齢者や車いすの方も通る中、チケットカウンターなど多くの人が通られるような場所では、誘導マットが適していると思う。誘導マットだけではなく、館内は音声ガイドや点字ガイドブックも備えているが、これからもすべてのお客様の利便性に配慮した整備をしていきたい。」と、今後のバリアフリーに向けても意欲的に取り組んでいく姿勢です。

■視覚障がい者歩行誘導ソフトマット概要

いわゆる誘導ブロックの代替品として視覚障がい者が考案し、視覚障がい者団体協力のもと開発された。全ての人の利便性に配慮した「ユニバーサルデザイン」の考えをベースにしている。

白杖で叩いた時の音の違いや、足裏に伝わる質感の違いによって誘導路を認識することができるゴム製の屋内専用マット。表面の凹凸や段差がなく、中央部に向かって緩やかな傾斜となっているので、高齢者や幼児がつかまったり、ベビーカーや車いすの車輪の引っかかりを防ぐ。そのため、空港、銀行ATM、ホテルなどでの導入も進んでいる。床への設置は両面テープを使用するため、大掛かりな設置工事は不要。取り外しも容易なので、催事などで一時的に設置することも可能。

2016年2月に、ドイツ「iFデザインアワード」の金賞を受賞。同アワードは全世界から優れたデザインを選定するもので、「プロダクト部門・公共デザインカテゴリー」で日本初の金賞を受賞。その他にも多数のアワードを受賞し、世界的にも注目されている。



■東京都江戸東京博物館 概要

所在地：東京都墨田区横網1丁目4-1

施設概要：東京都江戸東京博物館は、江戸東京の歴史と文化をふりかえり、未来の都市と生活を考える場として平成5年（1993年）3月28日に開館。高床式の倉をイメージしたユニークな建物で、開館以来、東京を代表する観光スポットである。



■お問合せ先

施設：江戸東京博物館 管理課 TEL:03-3626-9974（代表）

製品：錦城護謨株式会社 土木事業本部 ホドウくん担当 TEL:072-992-2328/FAX:072-922-4175